

# ゼオンケミカルズ米沢

## 会社紹介

### 【事業内容】

香料・医農薬中間体の製造販売、RIM 配合液の製造・販売

1996 年設立。ファインケミカル製品の生産会社としてスタートし、1997 年には合成香料、1998 年には RIM 配合液の生産を開始しました。

### 【人員数】

2022 年 3 月末人員数：34 名（男性 31 名、女性 3 名）

2021 年度採用実績：2 名（男性 1 名、女性 1 名）



ゼオンケミカルズ米沢

### 製品イメージ



合成香料を使用した香水

RIM 配合液を使用した成形品

## 会社方針（トップメッセージ）

当社はゼオングループ唯一の北日本の生産拠点です。生産会社としての責務を果たすために安全・安定生産体制の維持改善を最重要課題としながら、新中期経営計画で掲げた「2030 年ありたい姿」の実現を確実にするため、2022 年度は、「無事故・無災害を継続し 2030 年ありたい姿に向けた基盤創りに注力しよう」を年度方針として掲げました。また、当社の継続的な成長のためには、従業員の心と体の健康を基盤とした人材育成が必須であると考え、「新中計重点課題」も鑑み、以下の重点課題を設定し、全社員で取り組んでいます。

1. 職場の安全レベルと従業員の健康意識を高めよう
2. 「ZCY の大切にすること」で人材を育て、会社を変えよう
3. お客様の 2030 年ありたい姿実現に貢献しよう



代表取締役社長 相村 義昭

## 安全への取り組み

### 【方針】

基本にこだわり安定・安全で快適な職場づくりを推進する

### 【具体的な取り組み】

#### 体感教育による感性 UP

・製造に用いるアルキルアルミ（危険物第 3 類）の燃焼・爆発体験を、消防署および薬品メーカーの協力により安全に危険体験する活動を実施しています。



体感教育

### 体感教育による感受性の UP

・VR（仮想現実）による聴覚・視覚・触覚再現により、危険な事象を安全かつ効果的に体感するシステムを導入し、疑似体験することにより危険体感（感受性向上）を行っています。



## 環境負荷削減の取り組み

### 【方針】

ゼロエミッションを継続し、環境負荷低減活動を推進する

### 【具体的な取り組み】

#### 1. ゼロエミッションの継続

- ・資源の再生利用
- ・サーマルサイクルの実施

#### 2. CO<sub>2</sub> 排出量の削減

・消費電力削減と燃料転換による CO<sub>2</sub> 削減を実施していきます。

#### 3. 環境関連データ（「0」は 0.5 未満、「0.0」は 0.05 未満を示す）

ゼオンケミカルズ米沢（株）		2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	5	6	5	6	4
	使用量（トン）	4,544	2,787	3,880	2,474	3,321
	排出量（トン）	1.5	1.0	1.4	0.5	0.0
産業廃棄物	減容前発生量（トン）	232	284	215	329	269
	埋立処分量（トン）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
水資源（工業用水+地下水+上水道）使用量（千 m <sup>3</sup> ）		18	16	14	16	16
CO <sub>2</sub> 排出量（トン） 省エネ・温対法基準		2,089	1,927	1,804	1,837	1,798
CO <sub>2</sub> 排出量（トン） Scope1		-	-	-	-	880
CO <sub>2</sub> 排出量（トン） Scope2		-	-	-	-	918
CO <sub>2</sub> 排出量（トン） Scope1+2		-	-	-	-	1,798
エネルギー使用量（原油換算、kL）		876	864	792	807	782
消費電力量（千 kWh）		2,001	1,800	1,758	1,787	1,764

※生産量の増加に伴い、2017 年度以降 CO<sub>2</sub> 排出量、エネルギー使用量ともに増加しています。

## 社員とともに

当社では、より高い目標に挑戦する人材の育成を目的に、日常的な改善活動に力点を置いた教育の実施と、日々の業務の中で会社や仲間に対する貢献度が高かった成果を従業員全員で認め合う表彰制度を取り入れています。また、職場の活性化を目的に、本年度より自分の意見を正しく相手に伝え、相手の意見もしっかり聞く、「相互尊重対話」の取り組みも開始しました。

## 【具体的な取り組み】

### 1. ZΣサークル活動活性化

QC サークルのことをゼオングループでは ZΣサークルと呼んでいます。自分たちの職場の困りごとを取り上げ、サークルメンバー全員で改善活動に取り組んでいます。毎年、成果発表会を社内にて開催し、代表サークルをゼオングループ全体の発表会に派遣することで、社員の改善に対する意識づけと問題解決力のスキルアップを図っています。また、品質改善活動の基本知識の習得を目的に QC 検定の資格取得にも積極的に取り組んでいます。

### 2. 社内表彰制度「なせば成る賞」

「なせば成る賞」は、改善・仕組みづくり、安全・5S、風土改革などで成果をあげた人を対象とした表彰制度です。「なせば成る賞」の名称は江戸時代中期に米沢藩主として改革に取り組んだ上杉鷹山公の名言「なせば成る なさねば成らぬ 何事も 成らぬは人の なさぬなりけり」にあやかりました。この制度により、2021 年度は 12 名、2022 年度上期は 9 名が表彰されています。

## 地域との共生

当社では、社会の期待に応える活動として地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

## 【具体的な取り組み】

### 地域のイベントへの参加

上杉雪灯籠まつりは中止となってしまいましたが、地域での清掃活動や小学生向けの科学実験教室は参加することができました。加えて、市内中学校・高校での職業体験会に参加し、フラスコやビーカーをプラントに見立て、ハーブを使った蒸留実験、香料入りの石鹸づくり等を通じて、化学プラントでの仕事を疑似体験してもらいました。また、インターンシップや工場見学も多く受け入れることができました。

